

災害時の「やさしい日本語」講座

災害が発生した時に、言葉の壁によって正確な情報を得ることが難しい外国人をサポートするため、「やさしい日本語」の基礎知識や、「やさしい日本語」で情報を伝えるときのポイントを学びます。

●やさしい日本語とは…？

普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のこと。
1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに、外国人に対する災害時の情報提供の方法として考え出されました。
現在、「やさしい日本語」は、災害時だけでなく、日常生活でのコミュニケーションツールの一つとして、行政情報や生活情報、毎日のニュース発信など様々な分野で活用されています。



やさしい日本語
《書き換え例》

- ・ 直ちに高台に避難してください。 ➡ すぐに たかい ところへ にげて ください。
- ・ 余震が起きる恐れがあります。 ➡ あとで くる じしんに きをつけて ください。

日 時 2022 年 1 月 29 日(土) 13:00~16:00

会 場 日立市役所本庁舎3階 304・305 号会議室(庁舎山側)

対 象 災害時の外国人支援に関わる方や
定 員 関心がある方。30 名程度

参加料 無料

講 師



まつもと よしひろ
松本 義弘さん

(一財)自治体国際化(CLAIR)地域国際化推進アドバイザー
(一社)日本フェアトレード・フォーラム(FTFJ)認定委員
(公財)横須賀市産業振興財団(YIPF)常務理事・事務局長

2008 年から、全国の自治体・国際交流協会・社会福祉協議会など 110 以上の団体で「やさしい日本語」「多文化共生」の講師・ファシリテーターを務める。

「公務員のための外国語活用術」(毛受敏浩著 2012 年6月29日 ぎょうせい)で「やさしい日本語」の必要性を訴えている。

内 容

- 講義 災害時に外国人が直面する課題、「やさしい日本語」の基礎知識 ほか
- グループワーク 「やさしい日本語」を使った災害時の情報提供

申し込み お問合せ

2022 年 1 月 17 日(月)までに、メール又は電話でお申し込みください。

[メール]kokubun@city.hitachi.lg.jp [電話]0294-22-3111 内線 534

*メールの場合は、氏名・住所・日中連絡が取れる電話番号・所属(団体名)・オンライン受講の可否を書いて申し込んでください。

主 催 日立市・日立国際交流協議会

*新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、オンライン形式の講座に変更する場合があります。